

「バスキュラーアクセス管理における定期エコーの有用性についての検討」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年1月1日から2020年12月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、自己血管内シャント及び人工血管内シャントを有する外来患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院の定期バスキュラーアクセス（VA）エコーの有用性を検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年11月20日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

下記調査項目を定期VAエコー開始前の2年間（2017年から2018年）と開始後2年間（2019年から2020年）で比較検討する。

1. 患者背景（年齢、性別、原疾患、透析歴、アクセスの種類 etc）
2. PTA 施行件数
3. VA エコー施行件数
4. VA 閉塞件数とその内訳（非血栓性閉塞および血栓性閉塞件数）
5. PTA 前の最小血管径
6. PTA 前の狭窄率
7. PTA 前のFV・RI
8. 透析トラブル発生件数（透析困難症例）
9. 緊急PTA率

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である岡田浩一が、個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

VA エコーを実施した患者さんの、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 井上 勉
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 友利 浩司
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 中元 秀友
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 渡部 恭兵
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 鳴海 敏行
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 吉田 雅毅
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 榎本 幸佑
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 畑中 祐樹
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 村杉 浩

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 腎臓病センター血液浄化ユニット

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1308

○研究課題名：バスキュラーアクセス管理における定期エコーの有用性について

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一